提出：　　　　年 　月 　日

文教大学　学生（教育支援）課 御中

団体名：体育会・文化会

代表学生氏名（学籍番号）：

顧問教員氏名：

（課外活動再開基準フェーズ：2）

文教大学　課外活動再開計画書

文教大学課外活動再開ガイドラインに基づき段階的に活動再開を行うにあたり、下記のとおり、現状に則した活動内容のほか新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みについて団体内で確認した「課外活動再開計画書」を提出します。

記

|  |
| --- |
| １．課外活動再開に係る基本方針について遵守することを誓約します |
| 以下の文書を確認の上、✓を入れてください。  □　「文教大学課外活動再開ガイドライン」を確認しました。  □　配付された「感染防止対策学習資料」を部員全員で共有し、理解しました。 |
| ２．団体内における具体的な感染防止策  ・団体内に「感染防止対策責任者」、「感染防止対策実行対応者（感染防止対策責任者との兼務可）」を置くこと。  ・各団体の活動状況・環境にあった、活動中及び活動の前後における十分な感染拡大防止対策の内容を具体的に明記すること。 |
| ◆感染防止対策責任者氏名・学籍番号：  ◆感染防止対策実行対応者氏名・学籍番号：  ◆活動中の感染防止対策の内容  ◆活動の前後における感染防止対策の内容  （活動場所）（使用器具）（活動人数）（感染対策）（誰が）（どのように） |
| ３．部員の体調管理等  ・活動に参加する部員全員の健康観察の実施及び行動記録を取ること。  ・検温等、毎日の部員の体調管理を継続的に把握し、体調の悪化や不良がある部員は活動に参加させない等の団体としての管理、指導体制の内容を具体的に明記すること。 |
| ◆部員の健康観察の実施方法、手順、取りまとめ等  （何を-検温等）（誰が）（いつ）（どのように）（どれくらいの期間）  ◆部員の行動記録の取り方、手順、取りまとめ等  記録・把握（誰が）（いつ）（どのように）  ◆活動に参加させない等の判断、指導体制の内容  （誰が）（どのように） |
| ４．団体内の連絡体制  ・顧問教員、部員、指導者（いる場合のみ）との連携が十分に取れており、団体内の指示命令・連絡体制が明確に組織されていることを具体的に明記すること。 |
| （連絡体制/連絡網等の可視化）※別紙でも可 |
| ５.具体的な活動内容  ・人数、活動場所、時間、活動形態等を一定程度制限した活動の内容を具体的に明記すること。  ・団体が所属する連盟、活動に関係する学会や業界団体等が示すガイドライン等を参照のうえ、活動内容を検討すること。 |
| ◆「各競技団体、連盟、学会、業界団体のガイドライン」の確認　　済　・　未  　（参照資料名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ◆具体的な活動（練習）内容  （活動場所）（使用器具）（活動人数）（活動/練習形態・内容）（活動時間） |
| ６．部員の参加意思確認  ・活動参加が強制的なものにならない等、部員個々の事情を尊重し、配慮されていることを具体的に明記すること。なお、学外実習に参加予定の学生は実習の２週間前から活動に参加できないことに留意すること。  ・参加する部員については「活動参加者名簿」（別紙）を作成し、活動再開計画書に添付すること。  ・活動再開計画の内容について大学からの許可を受けた後、活動参加者は「課外活動　保証人同意確認書」（別紙）の作成を保証人に依頼し、活動に対する同意を得た上で、大学へ提出すること。 |
| ◆活動参加における、部員個々の事情を尊重し、配慮するための具体的な内容 |
| ７．顧問教員の承認  上記の課外活動再開計画の内容について、承認いたします。  2020年　　月　　日　　　顧問教員氏名： |
| 以上  ※その他資料やスケジュール案等あれば別紙で提出してください。  ※「課外活動再開計画書」の各項目内容は、抽象的な書き方はせず、具体的に記述してください。（誰が、いつ、どのように　等） |
| 【学生（教育支援）課記入欄】 |
|  |